時事新報特別配達の購讀者に

時事新報の特別配達法に依り諸新聞休刊の日ゑ限り新報御購讀相成候方にて轉居の通知、配達差止の御申込等有之節は必ず特別配達の旨御書加へ被下度然らざれば帳簿上通常の購讀者と混じて御申越の通り相運び候迄に時間と手間を徒費し雙方の不便寡からざる儀に付右御願申上置候也

時事新報配達掛

時事新報

佛蘭西人 三

佛國の富は何處ゑありや農産物製造業並に諸美術品等は固より其一部分なる可しと雖ども千八百七十一年の敗戰ゑは内の軍費の莫大なるゑ加へて獨逸ゑ五十億フランクの償金を拂ひ爾後陸軍の擴張に又海防軍艦等の諸兵備に年々租税を増加したれども人民之を負擔して敢て苦顔を示さゝるのみならず近時佛國の政事家が獨逸に對する諸策略の中今の歐洲軍國の兵備は互ゑ相平行比例すると肝要にして敵に一門の大砲を増せば我また之を増鑄せざる可らず然るゑ獨逸の國と爲り富源に限りあるが故ゑ我れ若し國用を傾けて之を兵備の一方に注げば獨逸は兵備上の數ゑ於て我れと相對比する能はざるの日ある可しとて獨逸ゑ對して兵備費額の力較べを試みんとする者ありと云へり此策果して事實に行はる可きや如何は暫く置き佛國政事家が其富有を信ずるの厚きゑと明白ゑして此等の富の何處に存するやは世人の知るゑ苦しむ所なり余は此問題を擧げて外友諸氏に質すゑと幾回なるを知らざれども諸氏の意見は區々にして或は彼の巴里府を以て佛國富源の一と爲し世界各國の人々が年々巴里府に豪遊して金を散するゑと莫大にして現ゑ米國人のみの散財額毎年三千萬弗ゑ下らずとの說もあれば全體の遊興費推して知る可く特に巴里府廳にては府中に輸入する赤葡萄酒(ボルト、クラレット、ボルガンダー等の總名)に殆んど一倍の入市税を課し其他避客の消費品ゑは大抵此比例を以て課税もるが故ゑ世界各國の遊客が年々佛國官民に仕拂ふ者は實に莫大の金額ゑして今日巴里の盛觀も多くは此費額中より來り延て佛國富源の一たる可きや疑を容れず云々の說あり又他の一說には佛國の富は祖先傳來積年の富にして其富たる國土天然の沃饒より來り或は國民工藝の精巧より來りたるゑと勿論あれども多年戰捷凱陣の際に降服國より持ち歸りたる財寶も多かる可く現る千八百十五年十一月(ナポレオン第一世ウヂータアローゑ敗績してルイ十八世第二回目の復位の時)の條約にて佛國政府はナポレオンの分捕たる繪畫彫刻諸美術品を伊太利並に日耳曼ゑ返還するゑとを諾したる等の事情に因りて考ふるも當時戰捷者の所爲如何を知るべし孰れも佛國積年の富を成したる者にして古池ゑ水枯れずの喩ゑ違はず今日國費多端なるに堪ふるものゑらんと云ふ即ち今日佛國の富は其來る所種々ゑして右等諸原因の結合したる者たるや疑を容れず斯くて同國ゑは所謂積年の富に因りて金の融通ゑ不自由なく多年内外の多事に接して處世の活潑なるを愛し心波情海溢々たる政治社會の變遷を見ると恰も一種の芝居の如く或は人氣ある政事家を聲援し或は其影武者と爲りて繼屋の簷より之をあや釣る人々も少なからず現ゑ今のブローン氏ロエー將軍が過般セーンの撰擧區ゑ於て議員投票を爭ひたる時の如き其散財は莫大ゑして當時フロッカー氏の諸權閥は將軍ゑ大金のある可き筈なく金の出所ゑそ疑はしけれと諸問したるゑ將軍黨は之れゑ答へて奸黨國を覆さんとする今日、正義愛國の人々は窃ゑ將軍の義風を欽慕して之を助援せざる者なく將軍兵糧の無盡藏なるは固より怪しむに足らざるなり云々と說明したりしが其辯道の極端は彼の影武者の金穴に通ずるゑと明白にして彼等は其游資を散して窃ゑ政治上の活劇を樂しむ者なりと云ふも可おらんを知れば近年佛國ゑては内閣の變更頻繁に亡て短きものは數箇月、長きものも一二年ゑ過ぎず政事家の榮枯轉々間斷あるゑ、ゑて「萌出るも枯るゝもおなじ野邊の草いつれか秋に逢はで果つべき」の一句は移して以て今日佛國内閣の狀態を形容するに足る可く過般フロッケー内閣の交迭ゑ際して倫敦の或る新聞記者は佛國内閣は木葉の如く年に一度は落つるがゆゑゑ舊葉國中に散亡して昨今途上相逢ふ者概ね前内閣の落武者ならざるなし云々と評したり孰れも他國人の嘆驚して傍より心痛する所おかりせば芝居の幕の換はらざると一般、却て興味の寂寞たるを感するとおらん蓋し佛國人民は古來歐洲中原ゑ在りて内外交渉の衝に當り深く國民獨立の義を解するが故に人民自から立つ所に立て實際政府ゑ依賴するとなく大統領職を辭して數日間國に主領おきも宰相政敵と野に會して勝負を決鬪ゑ訴ふるも人民其所を失はざるのみならず青天白日其活劇を環視して市に國笑怒罵する者比々として皆な是なり誠に不思議の國民ゑして尋常繩墨の測る可き所に非ず從來歷史上の經驗ゑ據るに英雄豪傑世に出て〻此國民を引率すれば龍驤虎躍何程强くなる可きやも知れず事業中途不如意ゑして敗色外に現はる〻時は龍虎忽ち大羊に變じて何程弱くなる可きやも知れず即ち所謂調子外れの人民なる所以にしてナポレオン再たび出現して此人民を皷舞すれば更に歐洲を震慴して其鼻息を窺はしむるの機おしとも云ふ可らず今の佛人は昔の佛人に異おらず而して彼の英雄豪傑の士は時に人間に降生するの是おきに非ず他年佛國兩軍の勝負の如きも談何ぞ容易ならん如何とおれば佛國人は實ゑ驚く可き人民なればなり (終)

雜部

○紀元年後の分數より多きと五倍以上 耶蘇紀元より昨年の終りゑ至るまで滿千八百八十八ゑ一年の通常日數三百六十五を乘じ之ゑ閏日の數四百六十を加へて合計日數六十八萬九千五百八十日とおる之を時ゑ直せば千六百五十四萬九千九百二十又分ゑ直せば九億九千二百九十九萬五千二百即ち十億に足らざるゑと七百萬四千八百なれば來る千九百二年四月廿八日午前十時四十分に至りて始めて十億分時に達するを得べし偖普佛戰爭の折佛國が獨逸ゑ拂ひ渡したる五十億フランの償金を以て試ゑ此分數に割付くるゑ紀元第一年の一月一日ゑ一日ゑ五フラン(殆んど一弗)づゝ拂ひ込むも尙ほ未だ今日に至りて其償却を終る能はざる計算おりと云ふ

○埼玉縣下新茶の景況 製茶業者は近年種々の困難ゑ遭遇して此兩三年は餘り面白き利潤をも見ざるより將來の方向ゑ迷ひて狼狽の折柄おれば隨って培養も不行屆勝なるが去年は春來差したる氣候の變化もなく先づ以て一體ゑ芽立も宜しき方にて營業者は望を屬し居たる處本月三日及八日の兩度に多分の霜を降らしたるが爲め大ゑ茶葉を損害せり依て埼玉茶業組合にて直に其霜害を調査せしゑ左表の如き損害を蒙り將來如何なる影響を及ぼすゑとならんゑと憂慮措く能はざるの景況ありと

入間、高麗、比企、横見四郡茶業組合、七八分害
北足立、新座 二郡 同 五六分害
大里、幡羅、榛澤、男衾 八郡 同 五六分害
賀美、那珂、兒玉、秩父 二郡 同 五六分害
南北埼玉、北中葛飾

○慈善音樂會 東京盲啞學校維持の爲ゑ八日の夜東京高等女學校ゑ於て岩倉公、佐々木伯、榎本、青木、大村山尾諸子、長岡男等の夫人及渡邊、辻、澁澤、大倉諸氏の夫人高等女學校教師プリンス令孃が催はしたる慈善音樂會は近來音樂會の多きゑも拘らず盛會を極めたり今其景況を記さんに奏樂場は同校講堂にして四方には綠葉を飾り之に造花を點插し其正面には同じく羅馬字を以て邦語惠みの語を表し天井は紅白の木綿を以て飾り口々には國旗を交ゑしたり又た電燈をも欺くべき大空氣ランプ四個を釣るしたるは日米貿易商會より好意を以てプリンス令孃ゑ貸したるものおりと云ふ同場の裝飾は同令孃の意匠に成りし者のゑし但場内中央に岐阜提灯四箇を釣るしたるは内外賓客の批評を異ゑする所ならん偖同會は午後八時の開會おるゑ六時頃ゑより續々來場者あり開會の頃は滿堂立錐の地を餘さずして無慮七百人發起の諸夫人は勿論高等女官十數名榎本文部大臣、辻文部次官、渡邊大學總長、鍋嶋侯爵、山尾子爵、英蘭、葡、清の諸外國公使、曾我中將、大築少將等も見受けたり奏曲は十五番にして終りに盲啞學校啞生吉川金造は口頭にて謝辭を述べ最後に式部職諸管絃を以て終を告げたりしが孰れも其技の達人おれば聽衆を感せしめぬは無かりし中にも音樂學校教師ギットリも氏のバイオリン演奏は絶妙にして拍手喝采暫く止まず伺氏をして再演せしめたるは同氏ゑ取りての榮譽と云ふべくアレン令孃が傳十二歳の妙齡にして大衆中畏縮の色おく獨唱せる如きも感服の外なく山勢松韻氏と共に盲生四名の彈箏は當日の變はりものにして本邦婦人客の耳を喜ばせしものおり又啞生吉川金藏の謝辭を述べしを聞くに明瞭に聽取り得られ聽衆中不思議に驚き教育の功を稱するの聲場内ゑ滿ちたり文化の德澤盲啞に及び其功著るしきを見ては慈善家も滿足せしおらんと云ふ

啞生吉川金藏の謝辭 私は吉川金藏と申し東京盲學校の生徒であります今晚皆々樣が私共の學校の爲ゑ此會を御開らき下され有り難く存じまして一言御禮申上げます

○漆樹の景況 若松愛林社は福嶋縣下にて有名なる殖產會社おるが本年は一層社業を擴張する筈にて同社員穴澤祐造川嶋滝藏の兩氏は頃日諸事取調の爲め上京したり同社は年來專ら漆苗、櫨和の養殖販賣に從事せるゑしの處穴澤氏等の話に依れば昨年來各地共ゑ漆苗の植付非常に流行し苗の需用夥多おるゑは申す迄もなく其種のゑまても昨冬より本春に掛け會津よりの數日高かは無慮六七百俵に及べりと云へり

○日本橋區公民會 は來る十七日午後七時より同區杉ノ森新乘物町十一番地東京呉服木綿組合事務所ゑ於て開會するゑしおるが議題は飯田宏作、高田早苗の兩氏なりと

○地藏尊の畫像 上野美術展覽會へ五六日前より出品ゑおりし地藏尊の畫像は巨勢の金岡が揮毫せしものゑして一見美術家の垂涎する程の出來なりと

○警察署の移轉 下谷區西黑門町おる下谷警察署は今度市區改正道路取擴げの爲め現在の家屋は今十三日を以て入札拂ひとおる左當分假りに同區西町の習成小學校跡へ移轉する筈なりと

○青物類の新荷 野菜の新物相場は下七錢ハチク筍りと

英國鼠疫 婚姻の禁 年頃にも相成たれども日本は從來の習慣を履行する迄に於て來の夫婦がなすし社會の風俗は又た其顚末女もあらん或は意の解釋を下し族の有樣を記し人相會して茶會みを樂むは彼國人は婚姻の伏する所に臟の中に意氣相問漸く頻繁ゑし物と覺して雙々祈り殊更に遠路共ゑ折を見て通ゑと云ふ斯く云へして此等男女二も肝要の一事に〻んとすれば時に又結婚のとき なれば男たり娘ざるのみか親にしめんとして常れば婦人たる者にして男子が娘言語擧動に至る往々婚姻の成否務めて彼の母のる後着々歩武をあるとなし云々ゑ母子の承諾をも定め始て代言約束の上は又一す書面を往復するあれば必らず所す此間世の嫌疑追ひ〻時日をらず妹あれば妹互ゑ好しみを結にせり斯て兩人め、奮發勉强する達せざれども大八歳に私當し男ゑ窺む所あるも但し金滿家の子の多き一因ならん後に於て始めて

(英貨)封度(ポンド)一ノ本位 (米貨)一弗(ドル)ノ本位 (佛貨)一ノ本位 (獨貨)一ノ本位 (墨貨)一ノ本位 (伊貨)一ノ本位 (露貨)一ノ本位 (蘭貨)一ノ本位 (白貨)一ノ本位 (瑞貨)一ノ本位 (印貨)一ノ本位 (支那)一ノ本位 (日本)一ノ本位 (英貨)一ノ本位 (米貨)一ノ本位 (佛貨)一ノ本位 (獨貨)一ノ本位 (墨貨)一ノ本位 (伊貨)一ノ本位 (露貨)一ノ本位 (蘭貨)一ノ本位 (白貨)一ノ本位 (瑞貨)一ノ本位 (印貨)一ノ本位 (支那)一ノ本位 (日本)一ノ本位